

ママの悩み



Q

『保育園に通うようになって、言葉づかいがあらくなりました。上の子は6歳の女の子なので、お友達を真似て言い始めた頃はそんなに気にはなりませんでしたが、最近では「きさん、殺すぞ!」と言われ、本人は冗談のつもりなのですが、これを外で言っているのかと思うとゾッとしてしまいました。又、やっと言葉を覚え始めた2歳の下の子が「バカ!」と言い始めたりもしています。周りが言うので、多少は目をつぶらないといけないとは思っていますが、どう話してあげたら一番いいのでしょうか?』

A

保育園に通うようになって言葉が乱暴になったがどうすればよいかという相談は、以前にも幾度が受けたことがあります。特に祖父母のいらつしやる家庭では幼い子どもを保育園に預けること自体に疑問を持っていることも少なくなく、言葉づかいの悪くなることを一層気になさっていました。

言葉のしつけは、私もとても大事にしたいと考えています。ひわいな言葉、テレビで覚えたような物騒な言葉に大人は誰も眉をしかめません。ところが子どもたちにとっては、家庭では使われない言葉ほど新鮮で魅力的に思えるらしく、次々に仕入れて来ます。

2歳前後の子どもの中には、覚え立ての「バカ」「ペー」(あかんペーのペーです)を使ってみたくてたまらない子どもがいます。以前、訪問した家で、2歳位の子どもが玄関に出てきて「バカ」と言われ、憤慨して帰った大人の話を聞いたことがあります。子どもも世界を知らない方は、突然の幼児の「バカ」に、カッとなさったのでしょうか。

私の園でも歩行の完成したクラスで、数名の子どもがおもちを取られたり、気に入らないことがある時等「バカ」「ペー」「ウン」等の悪態をつき、それを真似る子どももいますが、保育者が静かに「そんな言葉、先生嫌いと」と言い聞かせたり、時には無視し聞き流したりしている。何時の間にか、そんな言葉は姿を消しています。

第一反抗期の頃は、親や大人に反発して抵抗が表れやすく、特に高圧的な叱られ方をすると反発が強く「ブツ」とか「クソババア」等汚い言葉を浴びせた

り、あまり口うるさく注文をつけ過ぎると、子どもらしい生き生きした言葉を失って、しゃべらなくなったりすることもあります。

保育園の方では、以前に比べ言葉に関して問題を感じるものが少なくなくなったのは何故だろうと話し合ったことがありますが、多分、乳児期から長時間の園生活の中でテレビ以外のあそびが主流だからかもしれないと考えています。

幼稚園の入園初期に、テレビのヒーローが使う乱暴な言葉を使う子どもが少数いましたが、小学生のお兄ちゃんがいて、それが憧れの存在であると真似ることで一歩近づけたように思うこともありますし、大きいクラスでは、友だちが使っている言葉を使わないと仲間はずれにされるような気がしたり、強い友だちへの憧れから真似たりもします。

前述のように口やかましく注意すると、かえって面白がって使う傾向の子どももありますから暫く無視したり、少し嫌な顔をしていると、大好きなママが嫌な顔をしているから止めようということになるかも知れません。

しかし、質問のように冗談にしても「ぶつ殺す」「ぶんなぐる」等という言葉を放置したのでは人間らしい育ちは望めません。この年齢でも禁止しなればならない言葉があります。残忍な言葉、人を不愉快にしたり、相手の弱点をついて傷つけるような言葉です。

つい先日、「重い」と言われた言葉がきっかけになって、小六女児の友だち殺害事件が発生したのは記憶に新し

いところですよ。様々な背景もあつてのことで、今回はふれませんが、何気なく言った言葉が相手を深く傷つけることがあることも含めて、自分が言われたらどんな気がするだろうと考えさせたり、話し合ったりする言葉のしつけも大切にしたいものです。

言葉だけを直させようとしても無意味な場合もあります。乱暴な言葉を吐く子どもの中には、満たされない心や傷ついた心も隠されていることがありますから、表現された言葉だけに神経質に反応するのではなく、子ども心の動きや行動に気を配るのを忘れずにしたいですね。

家庭内で正しく美しい言葉を使い、安定した心の通い合いがあればきっと大丈夫だと思いますよ。

— 2004年8月号より転載 —

これまでの相談事は、《ドンナ・マンマバックナンバー(ドンナマンマ・カフェ)にございますが、品切れもあり》の他に、藤岡先生著書の《保育園で働くあなたに》《視点はいつもの他にも、私たち保育園の窓辺から》にも、数点ずつ掲載されています。おおむね半世紀を越えて保育園現場にある藤岡先生の、これまでの発言も収録されている本。保育士の先生方だけでなく、ママにとっても参考になること間違いなし。子育ての参考書にいかがでしょうか。



藤岡佐規子先生 著
「保育園で働くあなたに」
蒼丘書林¥1,365 (税込)



藤岡佐規子先生 著
「視点はいつもの、子どもたち 保育園の窓辺から...」
蒼丘書林¥1,470 (税込)

悩んでいるママへ。ドンナマンマにお話してください。

教えて先生 相談方法

- ① 28ページのアンケートシートをご利用ください。
- ② おさんの月齢・年齢をお知らせください。
- ③ 内容は、より具体的にお願います。
- ④ 200文字程度をお願いします。